

Vol.25 あなたの症状は風邪ですか？

文責：診療放射線技師グループ

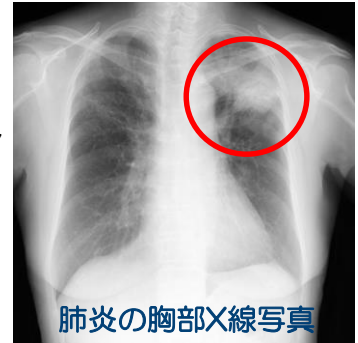
空気も乾燥し、風邪を引きやすい季節になりました。風邪だと思っていたら、肺炎だったというケースもあります。今回は肺炎をテーマにします。



肺炎ってどんな病気？

肺炎は近年増加傾向で、日本人の死亡原因の第5位です。

- ・細菌やウイルスなどの病気の原因になる微生物が、体内に入り込んで起こる肺の炎症のこと
- ・症状は、微熱～38℃を超える発熱(数日間持続)、咳や痰、息苦しさや胸の痛みなど
- ・肺炎は病原生物により、細菌性肺炎、ウイルス性肺炎、非定型肺炎に分類



肺炎の胸部X線写真

肺炎の種類

●細菌性肺炎

原因：肺炎球菌などによる感染

症状：激しい咳や発熱、黄色っぽく粘り気のある痰、胸の痛み、呼吸障害など

特徴：最も多い肺炎で、喉や鼻の奥の常在菌が風邪などで免疫が低下した時に、肺に到達し肺炎を起こす。高齢者がなりやすい。



●ウイルス性肺炎

原因：インフルエンザウイルスなどによる感染

症状：一般的な風邪の症状に続いて、激しい咳、発熱、倦怠感、頭痛、嘔吐など

特徴：細菌の感染と合併しているケースが多く、比較的小子どもがかかりやすい



●非定型肺炎

原因：マイコプラズマなどによる感染

症状：乾いた咳が長期間つづき、熱は微熱から高熱まで幅広く、痰は少ない

特徴：濃厚接触で伝播し、集団発生をする。比較的小若くて元気な人がかかりやすい。小児期～青年期が多い。高齢者は少ない。

肺炎の予防法！

- 禁煙
- うがい
- 手洗い
- 人混みでのマスクの着用
- 肺炎予防ワクチンの接種 →
などが有効

『当センターでは肺炎球菌ワクチン接種を行っております』
満65歳以上で、初回接種または前回接種から5年以上経過している方が対象となります。

以下の基礎疾患をもつ高リスクの方にも推奨されています。
心筋梗塞や狭心症などの心臓の病気
喘息やCOPDなどの呼吸器の病気
糖尿病、腎臓の持病がある人 など

当センターには、保健指導担当の保健師、管理栄養士がいます。
健診の際は、お気軽にご相談ください。